

# 令和4年度 計画変更

## 県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

( 農業用排水施設 )

### 要綱事業名

**【農業競争力強化基盤整備事業(一般型 (基幹水利施設整備型))】**

### 沖 縄 県

地区名 : ミースイ・唐小堀

所在地 : 伊江村

事業主体 : 沖縄県



## 第1章 目的

本地区は、沖縄本島北西の伊江島の東側に位置する畑作地帯で、さとうきび、葉たばこを基幹とし、野菜、花卉(キク)等が作付けされているが、畑作に必要な用水は、降雨と既設のため池に依存せざるを得なく十分な用水手当がなされていないため、農業生産が不安定であり、農業振興の妨げになっていることから、畑かん施設の整備が急務となっている。

このため、国営かんがい排水事業により地下ダムを新設して水源を確保し、併せて末端用水計画として、今回本地区を整備し、安定的なかんがい用水を確保し、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用排水施設	沖縄県伊江村東江上

### 第2節 地積

(平成23年10月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用排水施設			64.4				64.4	
	計		64.4				64.4	
	計							
合計			64.4				64.4	

### 第3章 現況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	名護観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	1967年～2010年	1月～12月	月～月	又は平均	
平均気温(℃)		22.6℃	-℃	22.6℃	
降水量	平均(mm)	2,019.0mm	-mm	2019.0mm	
	基準年(mm)	1,481mm	-mm	1481.0mm	平成5年
降水日数	平均(日)	80日	-日	80.0日	
	基準年(日)	72日	-日	72.0日	平成5年
根雪期間	—				
無霜期間	—				
最多風向	最大風速	33.5 m/s		最多風向発生時期 3月～5月・9月～12月	
NNW	(風向)	( s )		最大風速発生日月日 2010/8/31	

##### 2. 特殊気象

(2-1)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
名護観測所									
観測期間	1967年～2010年								
最大日雨量 (mm)	458	S44.10.7	1/191	274	H9.8.7	1/13	270	S46.11.14	1/12
最大時間雨量 (mm)	109	S44.10.7	1/111	97	S47.10.7	1/46	91	S60.8.14	1/30
最大4時間雨量 (mm)	47	S44.10.7	1/315	28	H9.8.7	1/14	28	S46.11.4	1/13
最大連続雨量 (mm)	680	S44.10.8	1/149	557	S47.7.25	1/36	528	S34.10.16	1/26
最大連続干天日数 (日)	57	H1.3.18	1/244	43	H3.6.21	1/32	40	S63.11.16	1/18

(2-2)

(第3表-2)

観測所名	第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
名護観測所							
観測期間	1967年～2010年						
最大日雨量 (mm)	265	H19.8.11	1/11	234	S59.8.19	1/7	
最大時間雨量 (mm)	79	S46.8.6	1/13	70	H10.10.4	1/10	
最大4時間雨量 (mm)	27	H19.8.11	1/12	117	S59.8.19	1/7	(最大日雨量より換算)
最大連続雨量 (mm)	507	S60.8.18	1/20	421	H14.9.23	1/8	
最大連続干天日数 (日)	38	H13.11.29	1/12	35	S56.7.13	1/12	

(水土里ネット沖縄 気象統計データより)

3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既住最高 測位 (m)	さく望平 均満潮位 (m)	上下弦平 均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位 (m)	さく望平 均干潮位 (m)	既住最低 潮位 (m)	備考
	年～年	( )						( )	
実測値		( )						( )	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(2-1)

(第4表-1-1)

事業名	地目	田					計
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	
排農業 水施用 設用	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率 (ha)	—	—	—	—	—	—
	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率 (ha)	—	—	—	—	—	—
合計	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率 (ha)	—	—	—	—	—	—

(2-2)

(第4表-1-1)

事業名	地目	畑・その他						受益地標高		備考
	傾斜区分	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高 (m)	最 低 (m)	
排農業 水施用 設用	面積 (ha)	62.3	2.1		—	—	64.4	73.1	39.4	
	比率 (ha)	96.7%	3.3%		—	—	100%			
	面積 (ha)									
	比率 (ha)									
合計	面積 (ha)	62.3	2.1		—	—	64.4	73.1	39.4	
	比率 (ha)	96.7%	3.3%		—	—	100%			

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区)名	土 壤 統 ( 区 ) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考		
	土 壤 断 面								事 業 名					
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性			泥炭層 黒泥層 及 び グライ層	推 積 様 式	母 材	排農 水業 施用 設用		計	
					表土		下層土							
一層					二層	三層								
多良間統	褐色	なし	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	琉球 石灰岩	57.4		57.4	
摩文仁統	褐色	なし	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	琉球 石灰岩	1.8		1.8	
マイザク原統	褐色	なし	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	琉球 石灰岩	5.2		5.2	
計											64.4		64.4	

(2-1) 該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上
	面積(ha)								
	比率(%)								

(2-2)

(第4表-1-3)

事業名	区分	ガリ浸食の程度		備考
		中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)			
	比率(%)			

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計 (ha)	備考
		一級地	二級地				三級地			四級地			
			※ 3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※	30° 以上 (ha)		
計													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干			拓		備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(平成23年10月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
排農水業施用	伊江村	-	64.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.4	
	計	-	64.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.4	
	計													
合計	計	-	64.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.4	



4. 土地所有の状況

(平成23年10月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有	企業有	字有	村有	国有	計	備考
	区分							
排農 水業 施用 設用	面積 (ha)	64.4	—	—	—	—	64.4	
	受益者数 (人)	334	—	—	—	—	334	
	筆数 (筆)	651	—	—	—	—	651	
	権利関係	所有・使用 賃借権	—	—	—	—		
	備考(関係戸数)	334	—	—	—	—		
合 計	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考(関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	64.4	—	—	—	—	64.4	
	受益者数 (人)	334	—	—	—	—	334	
	筆数 (筆)	651	—	—	—	—	651	
	権利関係	所有・使用 賃借権	—	—	—	—		
	備考(関係戸数)	334	—	—	—	—	334	

第3節 水利状況

1. 用水状況 ウカバ、浜崎、マタ

(1) 用水系統 }  
 (2) 用水施設 } 別紙参照

(ア) 取水方法一覧表

(2-1)

(第5表-1)

事業名	項目	か ん が い 面 積						計	
		500	ha以上	500 ~ 100 ha		100 ha未満			
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
排農 水業 施用 設用	貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—
	井堰	—	—	—	—	—	—	—	—
	自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—
	用水路	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	1	64.4	1	64.4
	計	—	—	—	—	1	64.4	1	64.4
	計	—	—	—	—	1	64.4	1	64.4
合	計	—	—	—	—	1	64.4	1	64.4

(2-2)

(第5表-1)

事業名	項目	水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
排農 水業 施用 設用	貯水池						
	井堰						
	自然取水口						
	揚水機						
	用水路						
	その他						
	計						
	計						
合	計						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	計							
	合 計							

(3) 用水に関する被害状況 (該当なし)

(ア) 用水不足による被害状況

(2-1)

(第5表-3-1)

事業名	項目	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不 足 水 量			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量	
				平 均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平 均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )
	系統名						
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-1)

事業名	項目	平均減産量		備 考
		(t)		
		作物名	減産量 (t)	
	系統名			
	計			
	計			
合 計				

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 (該当なし)

(2-1)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)		
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設
	計						
	計						
合	計						

(2-2)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害額 (百万円)			備 考
	公 共 施 設	家 屋 その他	計	
合計				

2. 排水状況 (該当なし)

(1) 排水系統

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(2-1)

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積					
			ha以上		～		ha未満	
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
		計						
		計						
	合計							

(2-2)

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			箇所	ha			
	自然	排水路					
		水門					
	機械	排水機					
		水門及び排水機					
		排水路及び排水機					
		計					
		計					
	合計						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(2-1)

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模
	施設名					
	自然	排水路				
		水門				
	機械	排水機				
		水門及び排水機				
		排水路及び排水機				
	計					
	計					
合計						

(2-2)

(第5表-5)

事業名	項目		新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名				
	自然	排水路			
		水門			
	機械	排水機			
		水門及び排水機			
		排水路及び排水機			
	計				
	計				
合計					

(3) 排水に関する被害状況 (該当なし)

(2-1)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況(ha)	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田	
								乾	湿
			平均						
			基準年						
	計		平均						
			基準年						
合計			平均						
			基準年						

(2-2)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	乾湿状況(ha)				平均減産量		備考
		畑		その他		作物名	減産物 (t)	
		乾	湿	乾	湿			
	計							
合計								

3. 河川状況 (該当なし)

(1) 河川状況

(2-1)

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 ( $m^3/s$ )

(2-2)

(第5表-7)

項目 河川名	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					



## 第4節 道路概況

### 1. 道路概況

本村の主要幹線道路は、県道181号線、県道225号線の2路線であり、これらに村道が接続し道路網を形成している。

### 2. 主要道路一覧表

(2-1)

(第6表)

N o	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)	
				全長	有効
181	伊江島空港川平線	現況復旧	4,244	—	—
225	伊江島環状線	現況復旧	17,348	—	—

(2-2)

(第6表)

N o	構造	改修の要否	備考
181	アスファルト舗装	現況復旧	施工区域内
225	アスファルト舗装	現況復旧	施工区域内

## 第5節 地域農業の概況

### 1. 産業別就業人口

(2-1)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱 供給 水道業
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
伊江村	2,218	736	—	43	2	203	85	2
計	2,218	736	—	43	2	203	85	2
比率(%)	100.0%	33.2%	—	1.9%	0.1%	9.2%	3.8%	0.1%

(2-2)

(第7表-1)

項目 市町村名	運輸 通信業	卸売 飲食 小売業	金融 不動産 保険業	サー ビス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	60	421	9	196	149	312	
計	60	421	9	196	149	312	
比率(%)	2.7%	19.0%	0.4%	8.8%	6.7%	14.1%	

(総務省統計局「国勢調査報告」R2年)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(3-1)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数(戸)							
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0
伊江村	367	20	40	101	48	32	36	46	38
計	367	20	40	101	48	32	36	46	38
比率(%)	100%	5.4%	10.9%	27.5%	13.1%	8.7%	9.8%	12.5%	10.4%

(3-2)

(第7表-2)

区分 市町村名	経営耕地広狭別農家数(戸)			1戸当たり平均 農用地面積(ha)					
	10.0 ～ 30.0	30.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるもの	田	畑	樹園地	小計	草地	計
伊江村	6.00	-	-	-	1.9	0.3	2.3	2.7	4.9
計	6.00	-	-	-	1.9	0.3	2.3	2.7	4.9
比率(%)	1.6%	0.0%	0.0%	-	39.4	6.4	45.8	54.2	100.0

(3-3)

(第7表-2)

区分 市町村名	耕地の 分散状況		専業別 農家数(戸)			備考
	一戸当 り団地数	団地当 り面積 (ha)	専業	兼業		
				第一種	第二種	
伊江村	-	-	241	61	58	
計	-	-	241	61	58	
比率(%)	-	-	64%	20%	16%	

(2020年農業センサス)

(第49次沖縄農林水産統計年報)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(3-1)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	トラクター		防除機		スプレー		サウキビ刈取機	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)
伊江村	402	281	0	0	0	0	0	0
計	402	281	0	0	0	0	0	0
100戸当たり 数量(台、頭)	143							
利用戸数 割合(%)	69.9							

(2015年農業センサス)

(3-2)

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜							
	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏	
	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
伊江村	4,550	136	46	1	0	0	0	0
計	4,550	136	46	1	0	0	0	0
100戸当たり 数量(台、頭)	3,346		4,600		0		0	
利用戸数 割合(%)	3.0		2.2		0.0		0.0	

(3-3)

(第7表-3)

項目 市町村名	備考
伊江村	
計	
100戸当たり 数量(台、頭)	
利用戸数 割合(%)	

(伊江村産業祭りパンフレット p16)

4. 主要作物付状況

(2-1)

(第7表-4)

市町村名		伊江村		計	平均	
総耕地面積(ha)		1,080				
総本地面積(ha)						
区 分 作物名		作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	
		(ha)	当たり収量 (kg/10a)	(ha)	当たり収量 (kg/10a)	
田	表作	—	—	—	—	
	裏作	—	—	—	—	
	小 計					
畑	基幹	サトウキビ	81	6,939	81	6,939
	葉たばこ	葉たばこ	19	233	19	233
	花卉	花卉	81	35,910本	81	35,910本
	野菜	野菜	18	1,094	18	1,094
	小 計		198		198	
樹園地						
	小 計					
計			198			
市町村別延べ作付率(%)						

(2-2)

(第7表-4)

市町村名		作 付 率 (%)	備 考	
総耕地面積(ha)				
総本地面積(ha)				
区 分 作物名		作付率		
		(%)		
田	表作	—		
	裏作	—		
	小 計	—		
畑	基幹	サトウキビ		41%
	葉たばこ	葉たばこ		9%
	花卉	花卉		41%
	野菜	野菜		9%
	小 計			100%
樹園地				
	小 計			
計				
市町村別延べ作付率(%)				

(サトウキビ～花卉:伊江村産業祭り資料 p9)  
 (野菜:園芸・工芸農作物市町村別統計書 平成23年)

5. 農業の動向

(2-1)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	農 家		土 地			主 要 作 物			
		B	A		B	A	作物名	B	A
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	94.7	94.7	耕地	94.7	95.1	さとうきび	118.3	129.0
	専業農家	89.6	89.6	田	—	—	葉たばこ	98.0	83.2
	第一種兼業 農家数	127.1	127.1	畑	83.6	76.3	花卉	105.5	92.9
	第二種兼業 農家数	92.1	92.1	樹園地	100.0	100.0	野菜	178.8	84.2
	農業 従事者数	53.3	53.3	牧草地	119.8	137.4			
変化の理由									

(2-2)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備 考
	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	乳用牛	87.7	31.5	トラクター	102.6	102.6	農業振興地域 1,460ha 昭和48年度 指定	A: 令和2年 (2020) B: 平成27年 (2015) C: 平成22年 (2010)
	肉用牛	97.4	107.0					
変化の理由								

(2010-2020年農業センサス)  
(伊江村産業まつりパンフレット)

第6節 地域環境の状況

(1) 伊江村の環境概要

さとうきび、葉たばこを基幹とし、野菜、花卉(キク)等が作付けされている。伊江島には、河川は無いものの、近年では農業・生活雑排水などの流入や、異常降雨時の部分的な土砂の流出等により、海や溜池の汚濁が進み浄化対策が課題となっている。また、北海岸の隆起サンゴ礁海浜植生のハダ植物群落と城山周辺の植生が、特定植物群落として指定されている。

(2) ミースイ唐小堀地区の環境概要

(第2表-5)

環境要素		項目	特記事項・概略説明			
自然環境	植物	貴重種	群落	2種	伊江島北海岸の隆起珊瑚礁海浜植生、城山の周辺の植生	
	動物	哺乳類	貴重種	2種	ワタセジネズミ、オリイオオコウモリ	
		鳥類	貴重種	1種	ツバメチドリ	
		爬虫類	貴重種	4種	イヘヤトカゲモドキ、マダラトカゲモドキ、クメトカゲモドキ クメジマハイ	
		両生類	貴重種	0種		
		昆虫類	貴重種	1種	オキナワキリギリス	
		甲殻類	貴重種	0種		
		貝類	貴重種	0種	ウスチャイロキセルモドキ	
社会的環境	自然環境保全に関する規制	自然公園地域		・該当 有 (無)		
		自然環境保全地域		該当なし		
		鳥獣特別保護地区		該当なし		
		風致地区		該当なし		
	法的規制	史跡	・国指定 0件	・県指定 0件	・市町村指定 0件	
		文化財保護に関する指定	名勝	国指定	該当なし	
				県指定	該当なし	
				市町村指定	該当なし	
		天然記念物	国指定	該当なし		
			県指定	該当なし		
	市町村指定		該当なし			
	埋蔵文化財包蔵地		0件			
	土地利用に関する規制	農業復興地域	64.4	ha	指定年月日:昭和48年3月29日	
		農用地区域	64.4	ha	当初計画設定年月日:昭和49年3月26日	
		森林地域	0	ha		
地域森林計画対象民有林		0	ha			
保安林		0	ha			
水利用状況	河川区域(二級河川)		該当なし			
	河川区域(準用河川)		該当なし			
	湧水・井戸		該当なし			

出典 ・沖縄県土地利用規制現況図(説明書・地図)、沖縄県、平成28年3月

・伊江村土地分類調査(概要調査)概要編、伊江村、平成9年3月

・伊江島の遺跡、伊江村教育委員会、平成11年3月

・レットデーターおきなわ 動物編 平成27年8月25日付けホームページ掲載

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本事業により、畑地かんがい施設整備(64.4ha)を実施し、生産性の向上、地域農業の活性化を目指すものである。

#### 2. 事業別面積

(2-1)

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	農業用排水施設					
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園		小計
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)
畑地かんがい	—	64.4	—	—		64.4
計	—	64.4	—	—		64.4

(2-2)

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	農業用排水施設						計	備考
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園		小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	
畑地かんがい	—	—	—	—		—	64.4	
計	—	—	—	—		—	64.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の計画作物は、施設整備後、農業用水の安定供給が可能となり、単収の増、高収益性作物への転換が見込まれることから、基幹作物のサトウキビを中心に、施設作物、露地野菜、牧草、葉たばこを作付けする営農計画とする。

2. 土地利用区分

(2-1)

(第9表-1)

事業名	土地利用区分		田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	小計
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
農業用排水施設	現況		—	64.4	—	—	—	64.4
	計画		—	64.4	—	—	—	64.4
	現況		—	—	—	—	—	—
	計画		—	—	—	—	—	—
計	現況		—	64.4	—	—	—	64.4
	計画		—	64.4	—	—	—	64.4

(2-2)

(第9表-1)

事業名	土地利用区分		原野	山林	その他	計	備考
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設	現況		—	—	—	64.4	
	計画		—	—	—	64.4	
	現況		—	—	—	—	
	計画		—	—	—	—	
計	現況		—	—	—	64.4	
	計画		—	—	—	64.4	



3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												備考		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
農業用排水施設	現況	さとうきび(夏植)	普通畑	◎		◎						△	△					
		たばこ	普通畑		△	△		◎		◎								キビの間作
		とうがん	普通畑					◎					△	△				キビの間作
		さといも	普通畑					◎					△	△				キビの間作
		いんげん	普通畑			◎							△	△				
		電照菊	普通畑			◎											◎	
		ローズグラス	飼料畑				△	△	◎									◎
	計画	さとうきび(夏植)	普通畑	◎		◎							△	△				
		さとうきび(株出し)	普通畑	◎		◎												◎
		たばこ	普通畑		△	△		◎		◎								キビの間作
		とうがん	普通畑	△	△			◎		◎			△	△			◎	表
		いんげん	普通畑	△	△	◎	◎						△	△	◎	◎		表
		電照菊12・4月出し	普通畑			◎							△	△			◎	
		電照菊1月出し	普通畑	◎									△	△				
電照菊2月出し		普通畑		◎									△	△				
電照菊3月出し		普通畑			◎									△	△			
さといも		普通畑				◎					△	△						
かんしょ		普通畑					△	△								◎	表	
にがうり(露地)		普通畑					△	△		◎	◎						裏	
にがうり(施設)		普通畑					△	△		◎	◎						裏	
チンゲンサイ	普通畑					△	△		◎							裏		
マンゴー	樹園地							◎	◎							裏		
ローズグラス	飼料畑				△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		

※△:播種、定植 ◎:収穫

(現況と計画の作付体系は変わらない)

国営伊江土地改良事業計画書(案)1/5分冊 p1-185

国営伊江土地改良事業計画書(案)2/5分冊 p5-120

## 4. 生産計画

(2-1)

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 64.4 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減
農業用排水施設	普通畑		さとうきび	23.4	4.8	-18.6	36	8	14,491	21,736	7,245.00
			たばこ	17.3	24.1	6.8	27	37	237	256	19.00
			輪菊	6.1	16.9	10.8	10	26	46,300	46,300	-
			飼料作物	10.8	7.9	-2.9	17	12	12,242	14,690	2,448.00
			野菜	8.7	39.6	30.9	15	63	13,099	14,168	1,069.00
		計	66.3	93.3	27.0	105	146				
		合計	66.3	93.3	27.0	105	146				

(2-2)

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
農業用排水施設	普通畑		さとうきび	3,391	1,043	-2,348	-2,695	348	
			たばこ	41	62	21	16	5	
			輪菊	2,824	7,825	5,000	5,000	0	
			飼料作物	1,322	1,161	-162	-355	193	
			野菜	1,140	5,611	4,471	4,048	423	
		計							
		合計							



6. 級地別土地利用区分 該当なし

(2-1)

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)		
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地
農 地	田								
	輪換耕地								
	畑								
	(普通畑)								
	(牧草畑)								
	樹園地								
	(果樹園)								
	(桑園)								
その他									
計									

(2-2)

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	干拓 (ha)		合 計
		四級地	計	
農 地	田			
	輪換耕地			
	畑			
	(普通畑)			
	(牧草畑)			
	樹園地			
	(果樹園)			
	(桑園)			
その他				
計				

7. 土地配分計画 該当なし

(2-1)

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)				
		田	輪換耕地	畑		
				普通畑	牧草畑	樹園地
増反		( )	( )	( )	( )	( )
入植		( )	( )	( )	( )	( )

(2-2)

(第9表-6)

項目 区分				備考
			計	
増反	( )	( )	( )	
入植	( )	( )	( )	

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

平成5年(1993年) (1/10年)

#### 2. 計画かんがい方式

散水・マイクロかんがい方式(1月～12月)

#### 3. 計画用水系統

別紙のとおり

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(2-1)

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい				水田畑利用		
		事業名			普通畑 計画平均 単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき 単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)		平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)
		農業用排水施設		計							
国営1号FP	農業用水	64.4		64.4	-	-	-	-	-	-	-
計											

(2-2)

(第10表-1-1)

項目 系統名	畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	計画平均 単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)	
国営1号FP	1.8 (4.0)	6	64.4	-	-	0.0134 (0.0298)	15	0.0158	0.351	
計	1.8 (4.0)	6.0	64.4	-	-	0.0134 (0.0298)	15.0	0.0	0.4	0.0

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位 給水量 (リットル/日)	最大 給水量 (リットル/日)			
				計					

5. 水源計画 該当なし

(1) 水利用計画

(2-1)

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 (千m <sup>3</sup> )	有効雨量 (千m <sup>3</sup> )	純用水量 (千m <sup>3</sup> )	粗用水量 $d = \frac{c}{(1-a)}$ (千m <sup>3</sup> )	現況利用可能水量			
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	
					(千m <sup>3</sup> )	(千m <sup>3</sup> )	(千m <sup>3</sup> )	
農業 用排水	畑地 かんがい	270	124	146	167	地下ダム ミースイため池 カヤため池 下原ため池 唐小堀ため池	167	146
	計	270	124	146	167		167	146

(2-2)

(第10表-2)

項目 区分	不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
	$g = c - f$ (千m <sup>3</sup> )	$h = d - e$ (千m <sup>3</sup> )		(千m <sup>3</sup> )		
農業 用排水	畑地 かんがい	0	0	—	—	散水 かんがい 15%
	計	0	0	—	—	マイクロ かんがい 10% 加重平均: 7.6%



(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(2-1)

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )
	直接	間接	事業名			
					計	

(2-2)

(第10表-3)

項目 貯水池名	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

(イ) 井堰及び自然取入口

(2-1)

(第10表-4)

項目 取水 施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)		
			事業名		
					計
計					

(2-2)

(第10表-4)

項目 貯水池名	取水量 (m <sup>3</sup> /s)		湯水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	最大	平均		
計				

## (ウ) 揚水機

(2-1)

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		事業名			最大	平均
				計		

(2-2)

(第10表-5)

項目 名称	揚水機				備考
	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	

## (エ) 用水路

(2-1)

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)
	事業名				
	農業用排水施設		計		
幹線管水路	64.4		64.4	0.0287	9.1
支線管水路	64.4		64.4	0.0082	16.11
計	128.8		128.8		25.21

(2-2)

(第10表-6)

項目 名称	構造	備考
幹線管水路	VP (RR)	
支線管水路	VP (RR)	
計		

(オ) その他の水源施設 該当なし

## (3) 水温水質

第4節 排水計画 該当なし

1. 計画基準雨量

2. 計画排水方式

3. 計画排水系統

4. 計画排水量

(2-1)

(第11表-1)

項目 取水施設名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	
	事業名			山地	平地		山地	平地
	区画整理		計					
計								

(2-2)

(第11表-1)

項目 取水施設名	基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量(m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考
	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
				自然排水	機械排水			
計								

5. 排水対策

(1) 排水水門

(2-1)

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-2)

項目 名称	名称	排水本川		備考
		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
計				

(2) 排水機 該当なし

(2-1)

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-3)

項目 名称	排水機				備考
	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計					



(4) その他

6. たん水検討



(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力(t/hr)	延長(m)	接統道路名	備考

2. 路線配置図



第6節 農用地造成計画 該当なし

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(2-1)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )
			H <sub>2</sub> O	KCl	

(2-2)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
		石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 該当なし

1. 計画基準雨量

2. 計画洪水量及び調節量

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 ( $\text{km}^2$ )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	安全洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	必要調節量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	ピーク時調節量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	調節後最大流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	調節前後の最大流量の差 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	備考 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )

3. 貯水池

(2-1)

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積( $\text{km}^2$ )		計画洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	貯水量 (千 $\text{m}^3$ )		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	可能調節流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	備考

#### 4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

#### 5. 管理計画

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離(km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画 該当なし

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考

(3) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{\text{リットル}}{\text{秒}}/\text{ha}$ )
	事業名					
			計			
計						

(2-2)

(第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下	集水渠出口以	備考
	水位 (m)		
計			

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			
計						

3. 客 土

(2-1)

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区分)	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2)

(第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壌 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (m <sup>3</sup> /s/ha)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単 位 排 水 量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全 排 水 量 (m/s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画



## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設 該当なし

#### 1. 貯水池

(2-1) (第17表-1)

名称			
提体	形式	流域面積(km <sup>2</sup> )	
		直接	間接
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(2-2) (第17表-1)

位置						
提高 (m)	提長 (m)	提体積 (m <sup>3</sup> )	基盤地盤 地質	貯水量(千m <sup>3</sup> )		備考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

#### 2. 頭首工 該当なし

(2-1) (第17表-2)

名称				位置	
形式	提高 (m)	提長 (m)			取水位 (m)
		固定部	可動部	計	

(2-2) (第17表-2)

名称			備考
形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	

3. 揚水機

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	
ミースイ揚水機	ミースイため池	0.0097	77	55.9	渦巻ポンプ
唐小堀揚水機	唐小堀ため池	0.0038	38	19.2	渦巻ポンプ

(2-2)

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ( )	台数 (台)	
ミースイ揚水機	65	1	電動機	11	1	
唐小堀揚水機	50	1	電動機	2.2	1	

4. 用水路

(2-1)

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長(km)		
	事業名				開きよ	トンネル その他	計
	農業用 排水施設		計				
幹線1号	64.4		64.4	-		1.01	1.01
幹線1-1号				-		0.21	0.21
幹線1-2号				-		0.15	0.15
幹線2号				-		5.00	5.00
幹線2-1号				-		0.48	0.48
幹線2-2号				-		0.49	0.49
幹線2-3号				-		0.18	0.18
幹線3号				-		1.57	1.57
幹線3-1号				-		0.02	0.02
支線管路				-		16.11	16.11
計							

(2-2)

(第17表-4)

項目 水路名	構造	勾配	主要構造物	備考
幹線1号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 100～φ 200
幹線1-1号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 100
幹線1-2号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 75
幹線2号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 100～φ 250
幹線2-1号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 100～φ 150
幹線2-2号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 75～φ 100
幹線2-3号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 50～φ 75
幹線3号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 75～φ 200
幹線3-1号	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 100
支線管路	管水路	-	塩ビ管VP(RR)	φ 50～φ 100
計				

5. 用水路

(第17表-5)

項目 施設名	構造	規模	数量	備考
ミースイ系統 1号ポンプ	渦巻ポンプ	7.5kw	1箇所	
ミースイ系統 2号ポンプ	渦巻ポンプ	7.5kw		
唐小堀系統 3号ポンプ	渦巻ポンプ	7.5kw		

第2節 排水水門 該当なし

1. 排水水門

(2-1)

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位	
				(m)	(m)
計					

(2-2)

(第18表-1)

項目 名称	排水路 ( $m^3/s$ )	備考
計		

2. 排水機

該当なし

(2-1)

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 ( $m^3/s$ )	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表-2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ( )	台数 (台)	





(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名稱	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

(第19表-3)

項目 名稱	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力 ( )	



第4節 農用地造成 該当なし

1. 農用地造成工

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	haあたり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
区分	造成工法			
地目				
計				

(4) 地目交換

(第20表-4)

項目	面積 (ha)	工 法	備 考
区分			
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目	数量	規模	構 造	備 考
区分				
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目	数量	規模	構 造	備 考
区分				
計				

2. 土壤改良

(第20表-7)

項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
区分					
計					

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(2-1)

(第21表-2)

名 称			位 置		
			提 長 (m)		
形 式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	提 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2)

(第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1)

(第21表-3)

項目	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計
水路名				

(2-2)

(第21表-3)

項目	構 造	勾 配	備 考
水路名			

第6節 干拓施設 該当なし

1. 堤防

(2-1)

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名称	構造		原地盤標高(m)		備考
	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め

(2-1)

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名称	最大流速 (m)	床固め構造	備考

3. 付属施設

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m <sup>3</sup> )	施工方法	構造

第7節 農用地整備施設 該当なし

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

項目	面積 (ha)			集水渠			
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
区分			計				
計							

(3-2)

(第23表-4-1)

項目	排水渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
区分							
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

項目	集水渠出口以下の排水施設		備考
	構造	数量 (m/ha)	
区分			
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目	対象土層の	ha当たり標準	面積 (ha)	工法	備考
	厚さ (cm)	除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)			
区分					
計					

3. 客土 該当なし

(2-1)

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)
		事業名				
			計			
	計					

(2-2)

(第23表-5)

区分	項目	運搬方法	備考
	計		

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(2-1)

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種
	計				

(2-2)

(第23表-7)

区分	項目	植栽本数 (本)	備考
	計		

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			



1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
提体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	提高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m <sup>3</sup> /s)	提頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備 考
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備 考	取水 施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

2. 提体補強施設

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	平成	29 年度
完了	令和	7 年度

## 第8章 環境と調和への配慮

### 1.事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、現地調査結果を十分反映させた、環境への配慮に努めた計画を策定するものとする。

### 2.工事実施における配慮

工事実施に当たっては、環境に負荷を与えるのを最小限におさえるための工法を検討し、地区外への影響がでないように留意して施工を行う。また工事期間中は、「赤土流出防止条例」に基づいて、降雨時のシート被覆等により赤土流出防止対策を重点的に行う。

### 3.貴重な動植物、文化財及び景観等への配慮

貴重な動植物、文化財及び名勝等は本地区には確認されていない。

第9章 換地計画の概要 該当無し

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当無し

第2節 換地区の設定 該当無し

1. 換地区の名称、所在、面積 該当無し

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

第3節 換地計画樹立の基本方針 該当無し

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準

2. 用途別予定地積

該当無し

(4-1)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地							
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9( )書き)			計
						土地改良施設	その他	小計	
	従前の土地								
	換地								
合計	従前の土地								
	換地								

(4-2)

該当無し

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域に換地する土地							
		本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
	従前の土地								
	換地								
合計	従前の土地								
	換地								

(4-3)

該当無し

(単位:ha)

(第25表-3)

用途 (取得予定者)		非農用地区域に換地する土地						合計	国
		異種 目換地	創設非農用地				計		
			農業経営 合理化施 設用地	生活上・ 経営上必 要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等			
換地区名	前後								
	従前の 土地								
	換地								
合 計	従前の 土地								
	換地								

(4-4)

該当無し

(単位:ha)

(第25表-3)

用途 (取得予定者)		機能交換に係る土地			一般 国公有地	総 合計
		県	市 町村 他	合 計		
換地区名	前後					
	従前の 土地					
	換地					
合 計	従前の 土地					
	換地					

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当無し

(2-1)

(第25表-5)

区分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法

(2-2)

(第25表-5)

区分 換地地区	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法 該当無し

1. 評価の方法

2. 清算の方法

第5節 換地計画書樹立の年度計画 該当無し

(第25表-6)

区分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当無し

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		農業用排水施設 (百万円)	備 考
区 分			
	主 要 工 事	1,660	R3年度単価
	附 帯 工 事	-	
	計	1,660	
関 連 事 業 ( 参 考 )	国 営	3,143	国営事業費を本地区分へ面積配分
	た め 池	267	既存ため池(NN事業)を本地区分へ面積配分



第11章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
水利施設整備事業 (基幹水利施設整備型)	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	184,766	304,661	
		品質向上効果	140	140	
		営農経費節減効果	48,440	30,253	
		営農土壌保全省力効果	5,474	5,474	
		維持管理費節減効果	△ 7,877	△ 5,930	
		営農に係る走行経費節減効果			
		国内農産物安定供給効果	20,619		
	農業の接続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果			
		災害防止効果(農業関係資産)			
		農業労働環境改善効果			
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)			
		地域用水効果	942		
		一般交通等経費節減効果			
		地籍確定効果			
		国土造成効果			
		非農用地等創設効果			
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)			
		水源かん養効果			
		景観・環境保全効果	11,943		
		都市・農村交流促進効果			
合 計			264,447	334,598	

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	4,981,260 千円	
当該事業による費用	①	1,460,561 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	3,520,699 千円	
年償還額	④	- 千円/年	
うち機能向上分	④'	千円/年	
年総効果(便益費) 額	⑤	264,447 千円	
現況年総農業所得額	⑥	173,708 千円	
年増加農業所得額	⑦	334,598 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		49 年	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	5,002,214 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧/③	1.00	
総所得償還率	⑩=④/⑥×100	- %	
増加所得償還率	⑪=④'/⑦×100	- %	

## 第12章 関連する事業

(第28表)

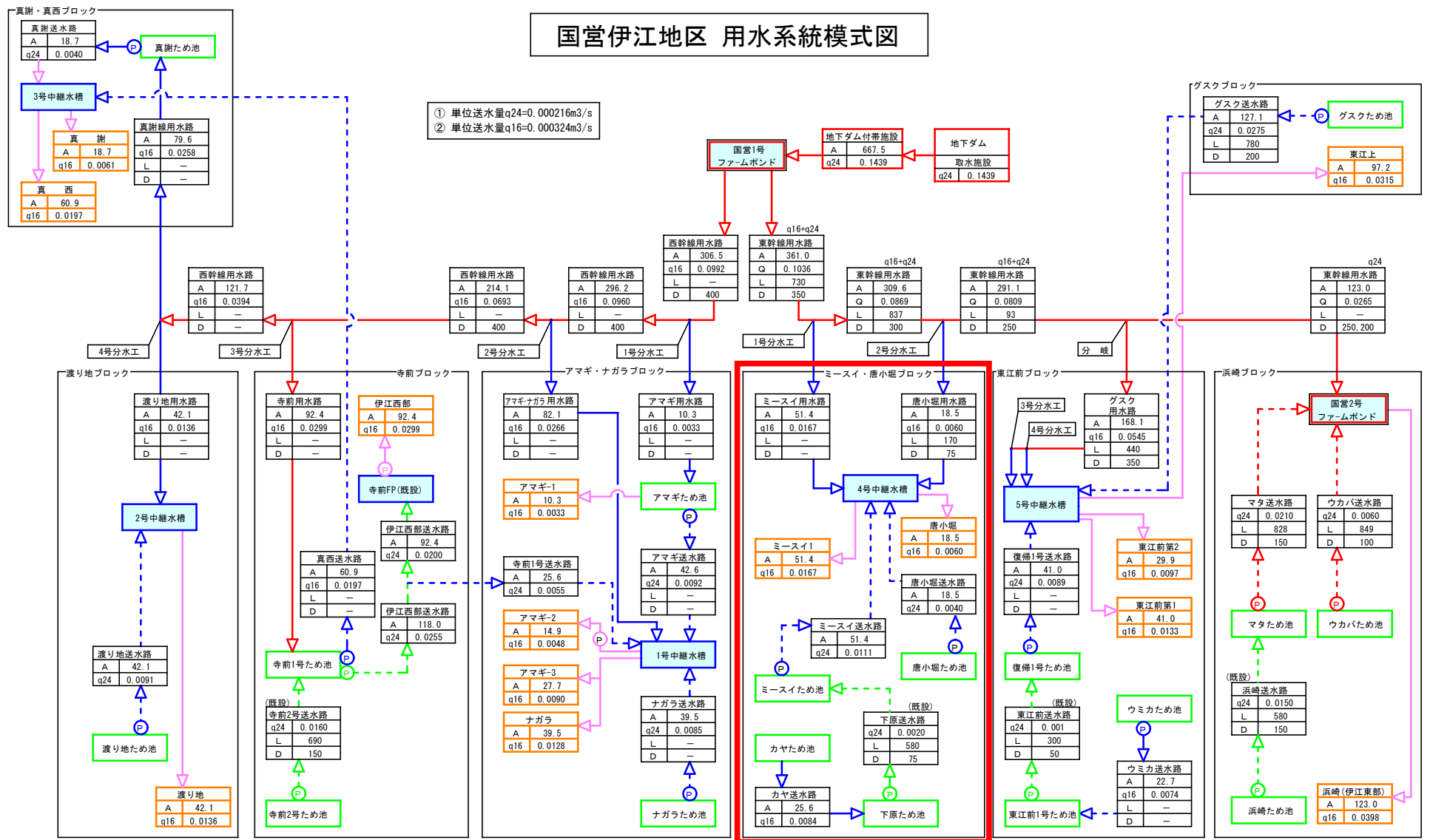
区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
農業 用 排 水 施 設	国営かんがい排水事業	国	668	地下ダム、ファームポンド、機場、 幹線用水路

## 第13章 現況・計画平面図 (別紙のとおり)

1. 計画平面図
2. 主要構造図
3. 土地利用計画図

# 国営伊江地区 用水系統模式図

- ① 単位送水量 $q_{24}=0.000216m^3/s$
- ② 単位送水量 $q_{16}=0.000324m^3/s$



凡例

A	面積 (ha)
Q	流量 (m <sup>3</sup> /s)
L	管路延長 (m)
D	管径 (mm)

- 国営事業 (用水路)
- 国営事業 (送水路)
- 国営事業 (配水路: 新設)
- 国営事業 (配水路: 既設)
- 国営事業 (排水機場: 新設)
- 国営事業 (排水機場: 既設)
- 関連事業 (用水路: 新設)
- 関連事業 (用水路: 既設)
- 関連事業 (送水路: 新設)
- 関連事業 (送水路: 既設)
- 関連事業 (配水路: 新設)
- 関連事業 (配水路: 既設)
- 関連事業 (排水機場: 新設)
- 関連事業 (排水機場: 既設)

令和4年度 計画変更

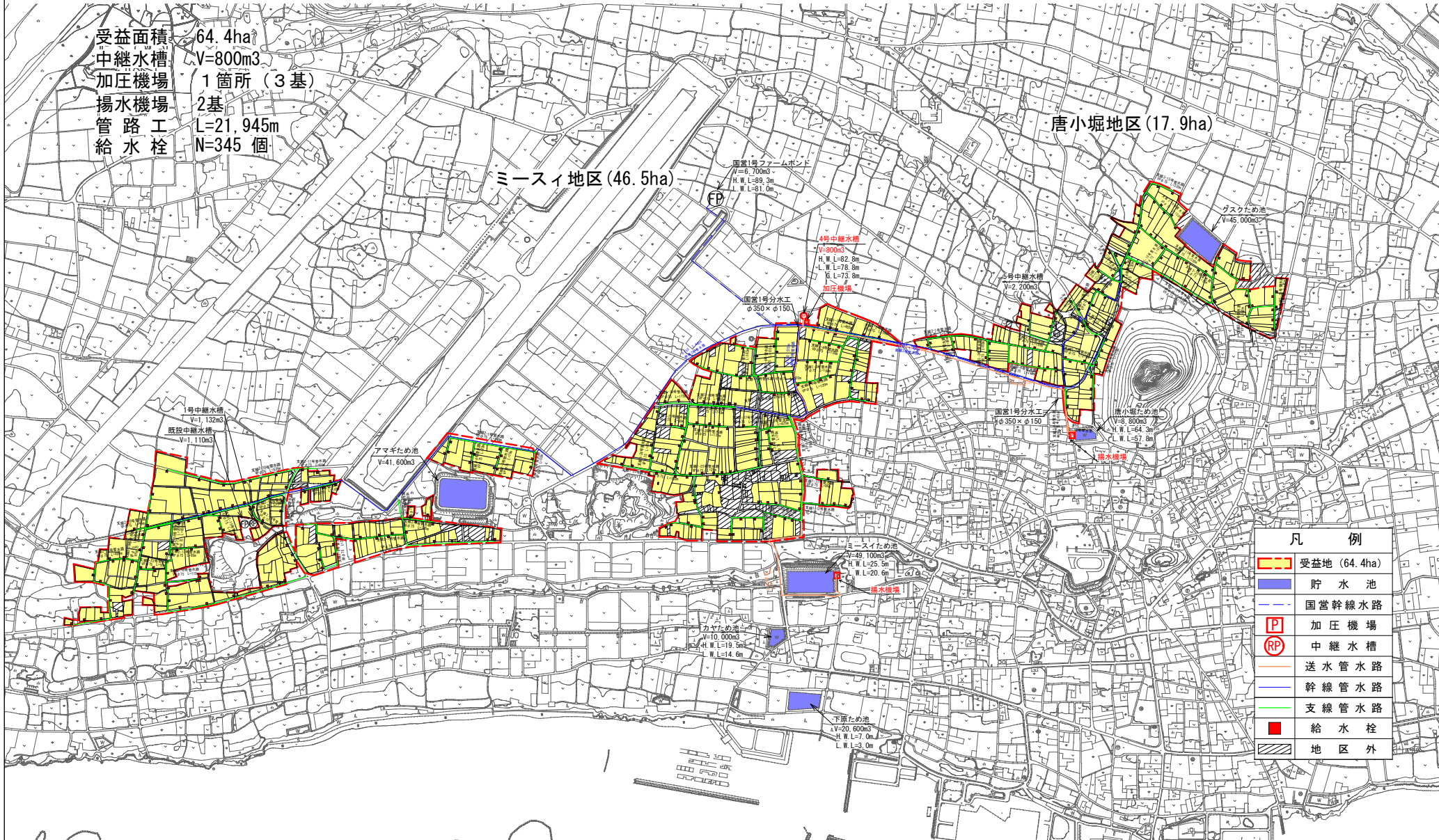
農業競争力強化基盤整備事業(水利施設整備事業：基幹水利施設整備型)

伊江村 ミースイ・唐小堀地区

計画平面図

S=1/12000

0m 100m 200m 300m 400m 500m

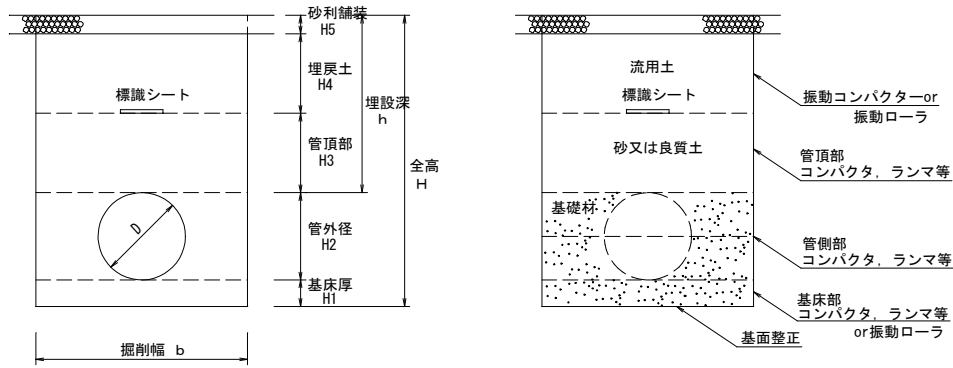


受益面積 64.4ha  
 中継水槽 V=800m<sup>3</sup>  
 加圧機場 1箇所(3基)  
 揚水機場 2基  
 管路工 L=21.945m  
 給水栓 N=345個

凡 例	
	受益地 (64.4ha)
	貯水池
	国営幹線水路
	加圧機場
	中継水槽
	送水管水路
	幹線管水路
	支線管水路
	給水栓
	地区外

令和4年度 計画変更 農業競争力強化基盤整備事業(水利施設整備事業：基幹水利施設整備型)  
 伊江村 ミスィ・唐小堀地区 主要構造図-1 S=NO SCALE

A型配管土工



※管頂30cm以下は、重機械を乗せない。  
 ※掘削幅bが1.0m以上の場合は、振動ローラとする。  
 ※人力荒仕上げはH=1.0m以上の場合計上する。

土工寸法表 (埋設深=0.6m)

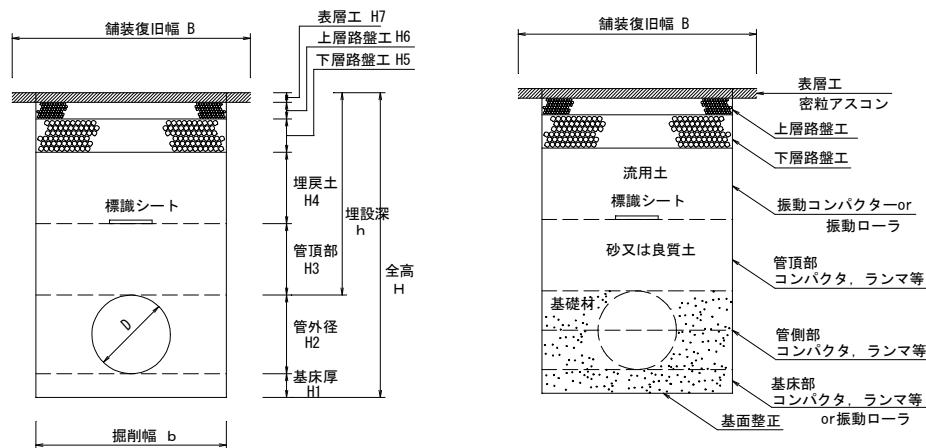
口径	土工区分	管外径		寸法表							
		D	b	H1	H2	H3	H4	H5	h	H	
φ75	A-G-0.6-75	86	500	100	86	300	150	150	600	786	
φ100	A-G-0.6-100	113	500	100	113	300	150	150	600	813	
φ125	A-G-0.6-125	139	500	100	139	300	150	150	600	839	
φ150	A-G-0.6-150	168	500	100	168	300	150	150	600	868	
φ200	A-G-0.6-200	221	500	100	221	300	150	150	600	921	
φ250	A-G-0.6-250	275	600	150	275	300	150	150	600	1,025	

土工寸法表 (埋設深=1.0m)

口径	土工区分	管外径		寸法表							
		D	b	H1	H2	H3	H4	H5	h	H	
φ75	A-G-1.0-75	86	500	100	86	300	550	150	1,000	1,186	
φ100	A-G-1.0-100	113	500	100	113	300	550	150	1,000	1,213	
φ125	A-G-1.0-125	139	500	100	139	300	550	150	1,000	1,239	
φ150	A-G-1.0-150	168	500	100	168	300	550	150	1,000	1,268	
φ200	A-G-1.0-200	221	500	100	221	300	550	150	1,000	1,321	
φ250	A-G-1.0-250	275	600	150	275	300	550	150	1,000	1,425	

B型配管土工

埋設深=1.0m



※管頂30cm以下は、重機械を乗せない。  
 ※掘削幅bが1.0m以上の場合は、振動ローラとする。  
 ※人力荒仕上げはH=1.0m以上の場合計上する。

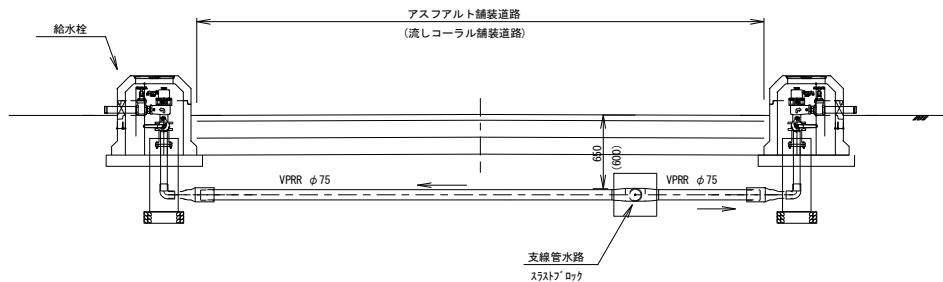
土工寸法表 (埋設深=0.6m)

口径	土工区分	管外径		寸法表									
		D	b	B	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	h	H
φ75	A-As-0.6-75	86	500	1,400	100	86	300	50	140	70	40	600	786
φ100	A-As-0.6-100	113	500	1,400	100	113	300	50	140	70	40	600	813
φ125	A-As-0.6-125	139	500	1,400	100	139	300	50	140	70	40	600	839
φ150	A-As-0.6-150	168	500	1,400	100	168	300	50	140	70	40	600	868
φ200	A-As-0.6-200	221	500	1,400	100	221	300	50	140	70	40	600	921
φ250	A-As-0.6-250	275	600	1,400	150	275	300	50	140	70	40	600	1,025

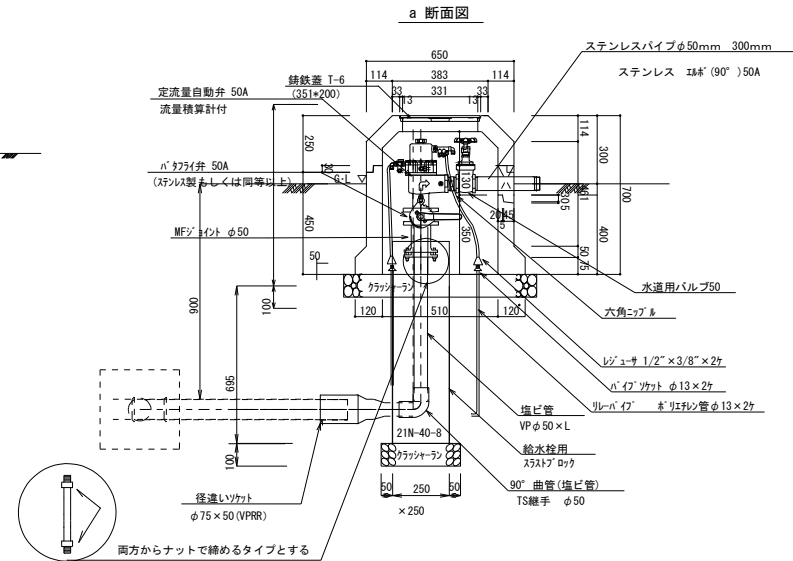
土工寸法表 (埋設深=1.0m)

口径	土工区分	管外径		寸法表									
		D	b	B	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	h	H
φ75	A-As-1.0-75	86	500	1,400	100	86	300	450	140	70	40	1,000	1,186
φ100	A-As-1.0-100	113	500	1,400	100	113	300	450	140	70	40	1,000	1,213
φ125	A-As-1.0-125	139	500	1,400	100	139	300	450	140	70	40	1,000	1,239
φ150	A-As-1.0-150	168	500	1,400	100	168	300	450	140	70	40	1,000	1,268
φ200	A-As-1.0-200	221	500	1,400	100	221	300	450	140	70	40	1,000	1,321
φ250	A-As-1.0-250	275	600	1,400	150	275	300	450	140	70	40	1,000	1,425

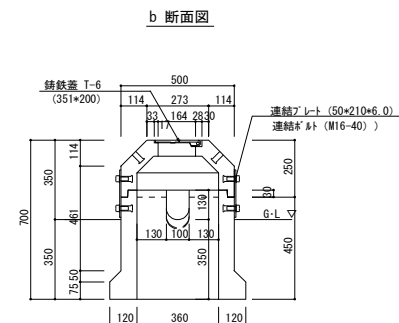
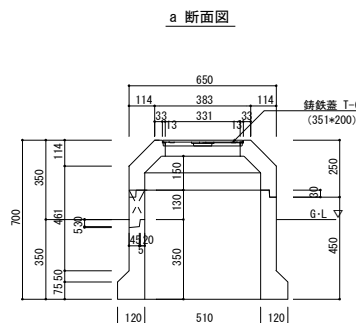
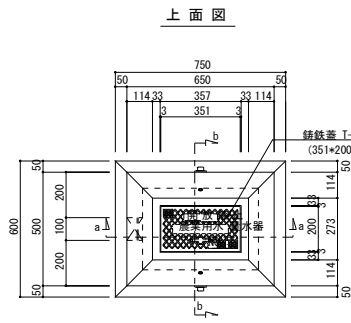
給水栓設置標準設置図



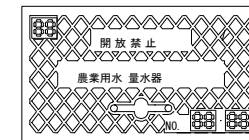
給水栓弁工



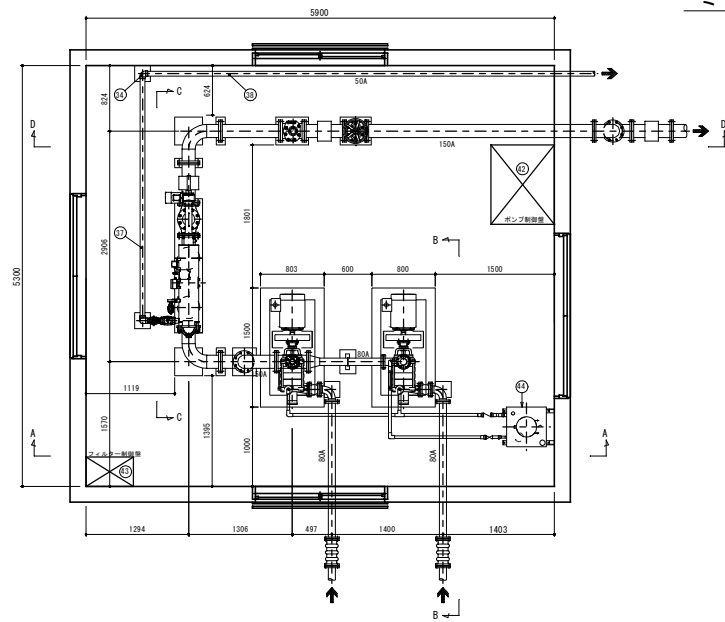
定流量自動弁ボックス



铸铁蓋詳細

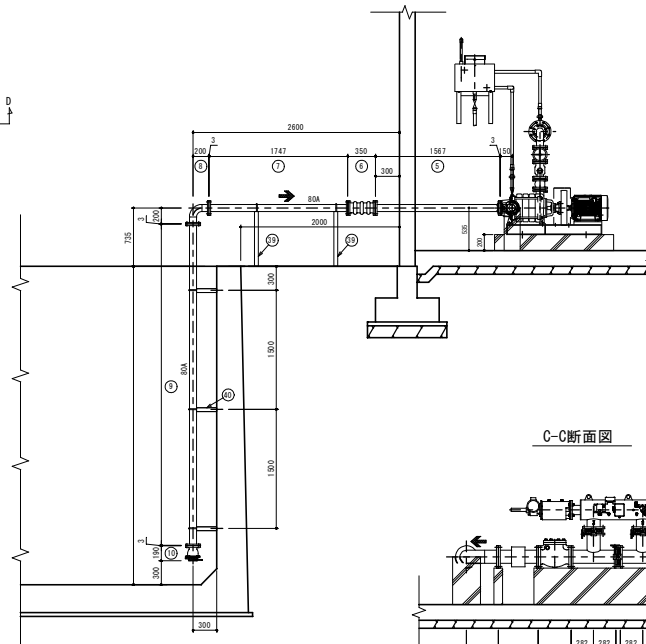


平面図

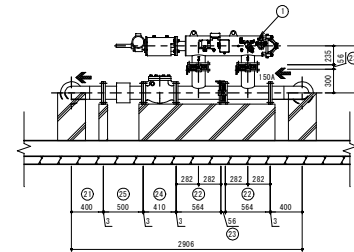


ミースイ揚水機場

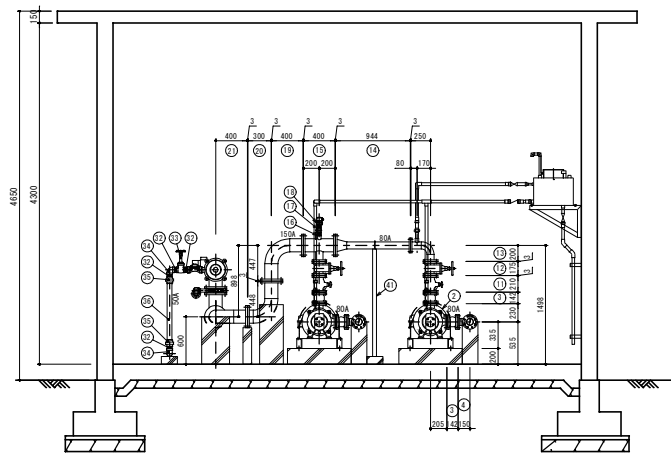
B-B断面図



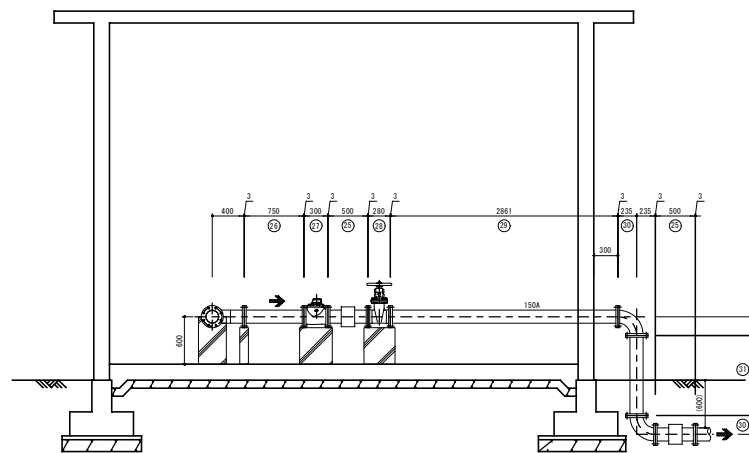
C-C断面図



A-A断面図



D-D断面図



本管材

番号	名称	形状・寸法	個数	備考
①	自動洗浄電動フィルター SAF-3000	SAF-3000	1	JIS10K
②	ポンプ	150A	2	機込 80A、吐出 80A
③	防塵継手	80A	4	JIS10K
④	2F曲管	80A×150L×150L	2	JIS10K
⑤	2F曲管	80A×1567L	2	JIS10K
⑥	Lコネクタ	80A×850L	2	JIS10K
⑦	2F曲管	80A×1747L	2	JIS10K
⑧	2F曲管	80A×200L×200L	2	JIS10K
⑨	2F曲管	80A×4549L	2	JIS10K
⑩	ポート弁	80A	2	JIS10K
⑪	ショックレスバルブ	80A×210L	2	JIS10K
⑫	スルースタ	80A	2	JIS10K
⑬	2F曲管 (25Aソケット付)	80A×200L×250L	1	JIS10K
⑭	2Fレニューサー管	150A×80A×934L	1	JIS10K
⑮	2F分岐管 (25Aソケット付)	150A×400L	1	JIS10K、分岐80A×200L
⑯	ニップル	25A	1	
⑰	仕切弁	25A	1	
⑱	変気弁	25A	1	
⑲	2F曲管	150A×400L×447L	1	JIS10K
㉑	2F曲管	150A×448L×300L	1	JIS10K
㉒	2F曲管	150A×400L×400L	2	JIS10K
㉓	2F分岐管	150A×564L	2	JIS10K、分岐150A×300L
㉔	パタフライ弁	150A	3	JIS10K
㉕	差込弁	150A	1	JIS10K
㉖	クローザージョイント	150A×500L	3	JIS10K
㉗	2F曲管	150A×750L	1	JIS10K
㉘	ウォルトマンタービン式流量水車 (80F-150A-JIS10K)	150A	1	JIS10K
㉙	ソフトシャトル弁	150A	1	JIS10K
㉚	2F直管	150A×2861L	1	JIS10K
㉛	2F直管	150A×235L×235L	2	JIS10K
㉜	2F直管	150A×1007L	1	JIS10K
㉝	ニップル	50A	4	自
㉞	エルボ	50A	3	自
㉟	ユニオン	50A	2	自
㊱	屈ねじ直管	50A×750L	1	
㊲	屈ねじ直管	50A×300L	1	
㊳	屈ねじ直管	50A×○○○L	1	(要合)
㊴	配管サポート式	80A用	4	機込管用
㊵	配管サポート式	80A用	6	貯水池用
㊶	配管サポート式	80A用	1	ポンプ管用
㊷	ポンプ制御盤		1	
㊸	フィルター制御盤		1	
㊹	継水機 (SUS製)	500×500×350H	1	ボルトタップ付

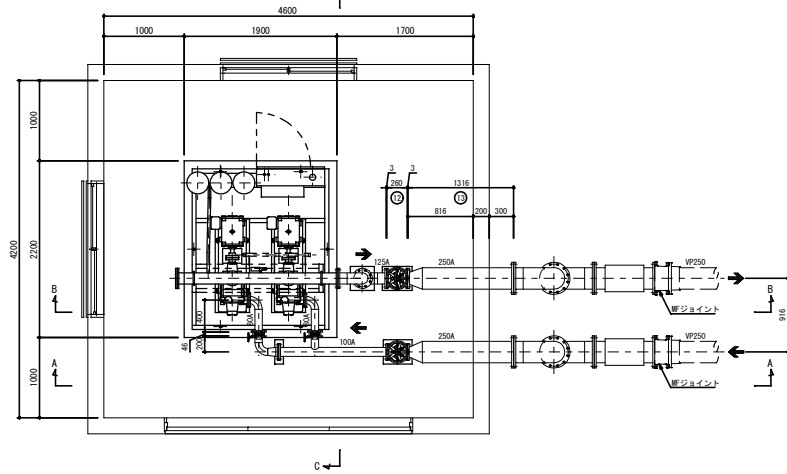
注 1) 加工鋼管は、重めメッキ仕様のこと。(JIS-H841に準拠のこと。)  
2) 継ぎ寸法、配管ラインレベル、土台の寸法等は参考数値とする。



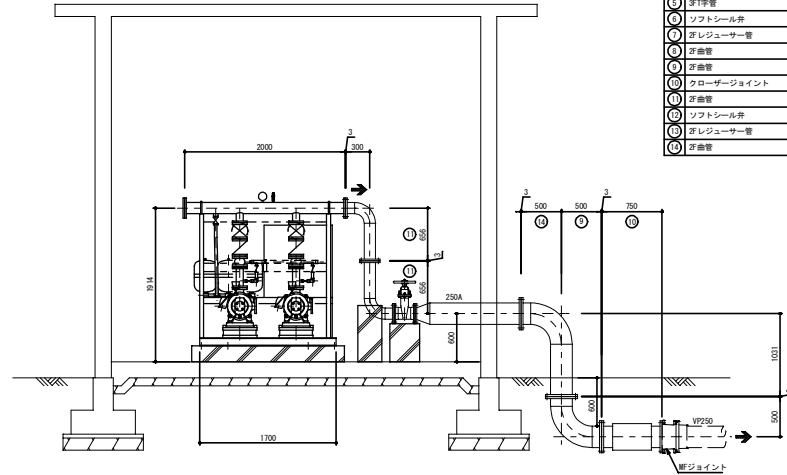


# ミーヌイ1号加压機場

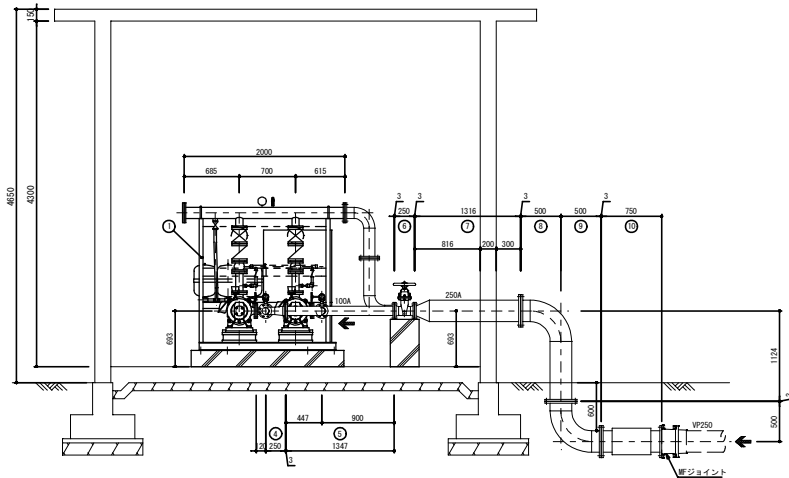
平面図



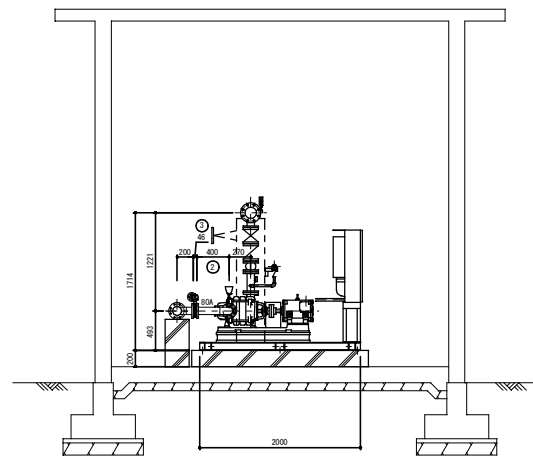
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図



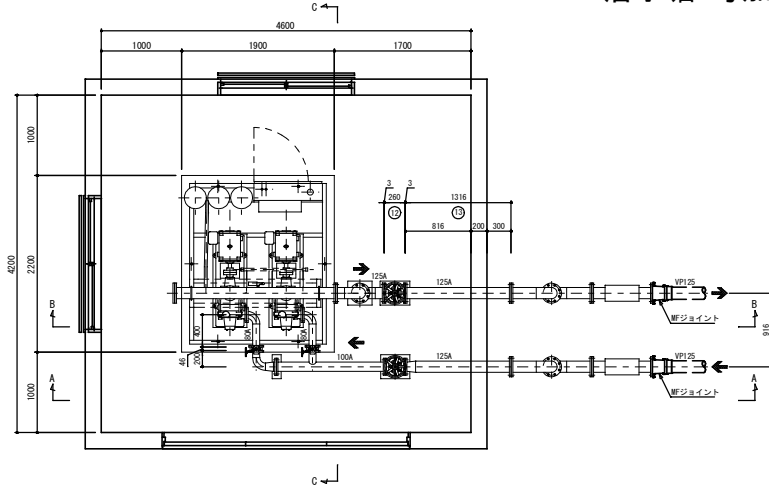
本管材

図号	名称	形状・寸法	数量	備考
①	加压ポンプユニット		1	機込: 85A, 吐出: 125A 11kW
②	牙曲管	80A×120L×400L	2	JIS10K
③	ハタフライ弁	80A	2	JIS10K
④	牙レジュサー管	100A×80A×200L×250L	1	JIS10K
⑤	3T字管	100A×134.7L	1	JIS10K
⑥	ソフトシール弁	100A	1	JIS10K
⑦	牙レジュサー管	250A×100A×1316L	1	JIS10K
⑧	牙曲管	250A×500L×1124L	1	JIS10K
⑨	牙曲管	250A×500L×500L	2	JIS10K
⑩	クローザージョイント	250A	2	JIS10K
⑪	牙曲管	125A×300L×656L	2	JIS10K
⑫	ソフトシール弁	125A	1	JIS10K
⑬	牙レジュサー管	250A×125A×1316L	1	JIS10K
⑭	牙曲管	250A×500L×1031L	1	JIS10K

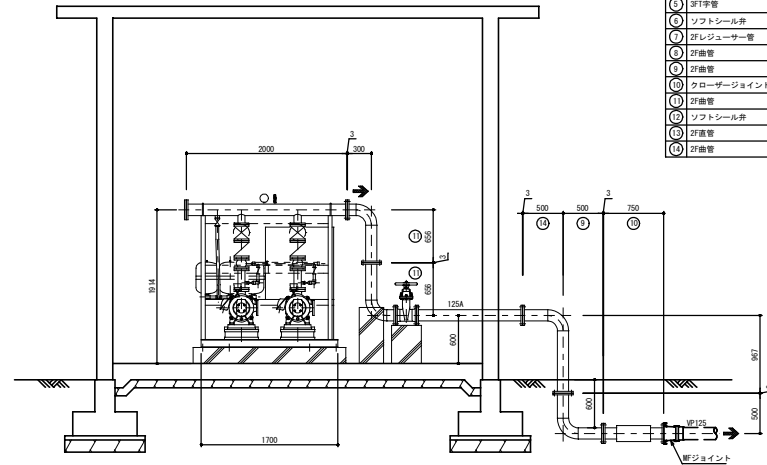


# 唐小堀1号加圧機場

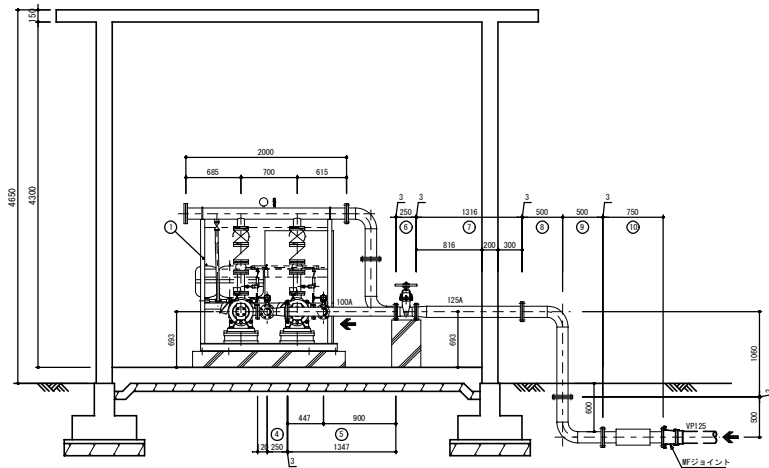
平面図



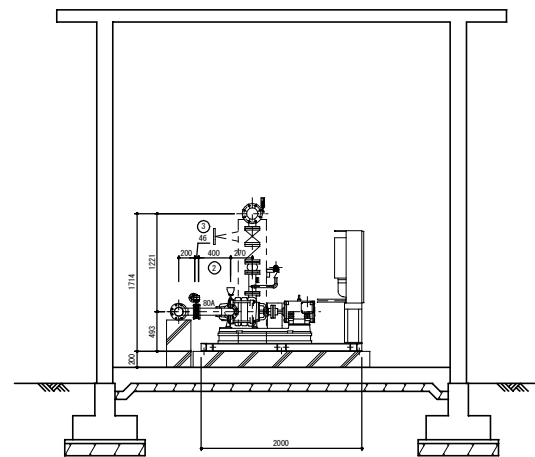
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図



本管材

番号	名称	形状・寸法	個数	備考
①	加圧ポンプユニット		1	吸込: 80A、吐出: 125A 114mm
②	ガ管管	80A×125L×400L	2	JIS10K
③	バタフライ弁	80A	2	JIS10K
④	ガレギュレーター曲管	100A×80A×200L×250L	1	JIS10K
⑤	ガT字管	100A×1347L	1	JIS10K
⑥	ソフトシール弁	100A	1	JIS10K
⑦	ガレギュレーター管	125A×100A×1316L	1	JIS10K
⑧	ガ管管	125A×500L×1060L	1	JIS10K
⑨	ガ管管	125A×500L×500L	2	JIS10K
⑩	ワローダージョイント	125A	2	JIS10K
⑪	ガ管管	125A×300L×656L	2	JIS10K
⑫	ソフトシール弁	125A	1	JIS10K
⑬	ガ管管	125A×1316L	1	JIS10K
⑭	ガ管管	125A×500L×967L	1	JIS10K

令和4年度 計画変更

農業競争力強化基盤整備事業(水利施設整備事業：基幹水利施設整備型)

伊江村

ミースイ・唐小堀地区

主要構造図

ファームポイント平面図

S=1/300

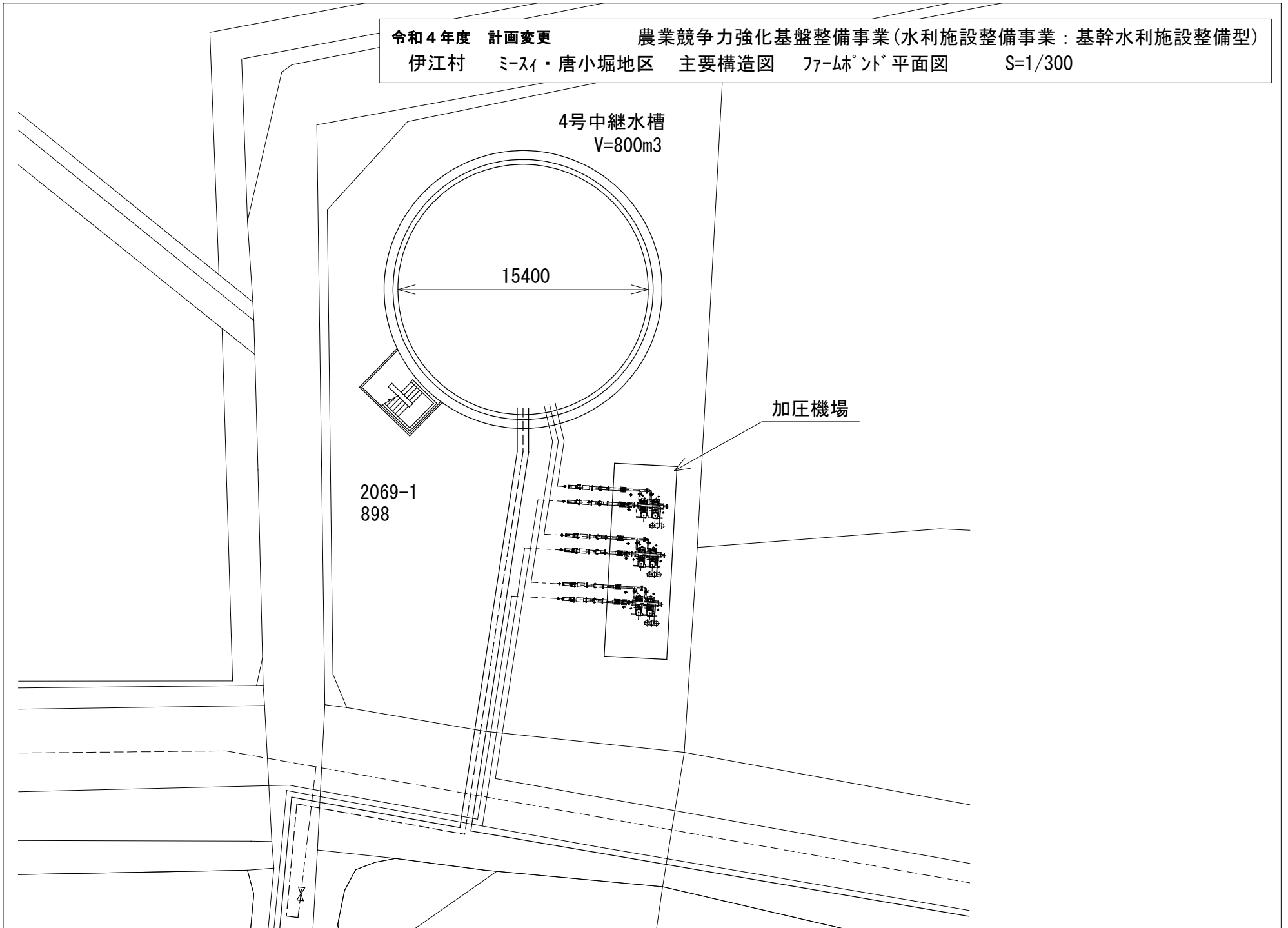
4号中継水槽

V=800m<sup>3</sup>

15400

加圧機場

2069-1  
898



令和4年度 計画変更 農業競争力強化基盤整備事業(水利施設整備事業：基幹水利施設整備型)  
伊江村 ミズイ・唐小堀地区 主要構造図 4号中継水槽 立面図 S=1/100

施工時のクレーン高は、  
ほぼ同等の高さを想定。

